



# 2020中期経営計画 説明会

2018年6月6日



大同特殊鋼株式会社

# 1. 2017中期経営計画の振り返り

## 2. 2020中期経営計画

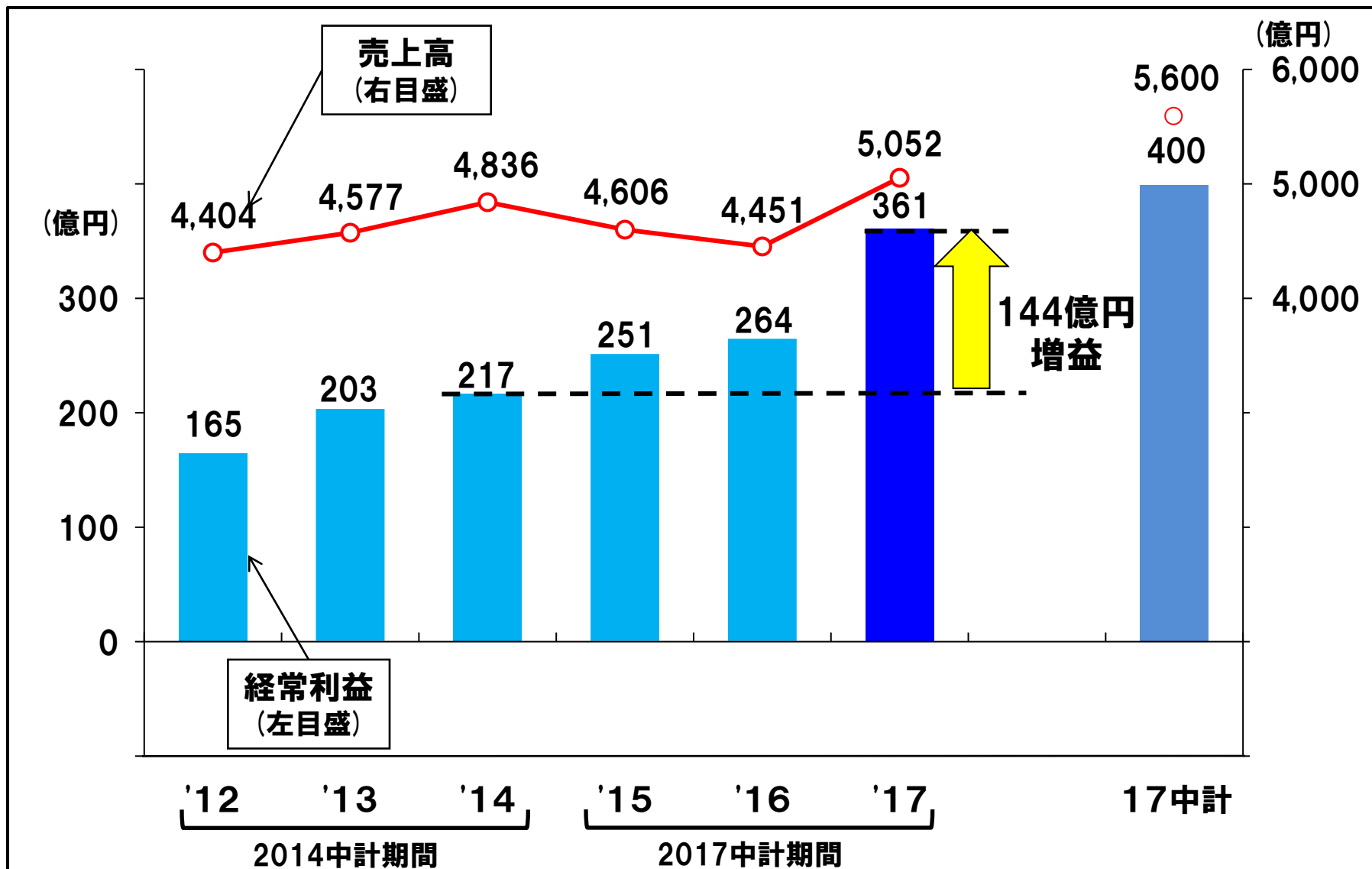
- (1) 経営基本方針
- (2) 事業環境認識
- (3) 重点施策
- (4) 経営目標

# 1. 2017中期経営計画の振り返り

# 2017中期経営計画 経営目標(目標対実績)

	17年度目標	17年度実績
売上高	5,600億円	5,052億円
経常利益	400億円	361億円
売上高 経常利益率	7%	7.2%
当期利益	250億円	239億円
ROA	6%	5.9%
配当政策としての 配当性向	20~25%	21.4%

# 売上高・経常利益 実績推移



# ■ セグメント別売上高・営業利益（中計最終年度比）

（億円）

		14年度 実績 (A)	17年度 実績 (B)	前中期差 (B) - (A)
特殊鋼鋼材	売上高	1,891	1,890	-1
	営業利益	32	65	33
機能材料・磁性材料	売上高	1,618	1,708	90
	営業利益	135	222	87
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	994	1,063	69
	営業利益	10	30	20
エンジニアリング	売上高	229	249	20
	営業利益	17	18	1
流通・サービス	売上高	104	142	38
	営業利益	10	27	17
合計	売上高	4,836	5,052	216
	営業利益	204	362	158

鋼材売上数量（単体）

1,187 千t    1,311 千t    124 千t

# ■ 設備投資(15～17年度累計)

	2017中期 経営計画	実績
設備投資 (工事ベース)	830億円/3ヵ年	877億円/3ヵ年

## タービンハウジング第2工場の 前倒し実施を含め、積極投資を実施

### <主要施策>

- 渋川工場 大型VIM設置
- 知多工場 再溶解炉(ESR)設置
- タービンハウジング第2工場新設
- タイ型鍛造工場の新設
- 傘中空エンジンバルブ工場の新設

## 2. 2020中期経営計画



# (1) 經營基本方針

## 《経営基本方針》

# Beyond the Special

「機能性に優れた素材で、お客様の技術革新を支える」

当社の主要顧客である自動車産業を中心として、内燃機関の効率化、電動化、自動運転等、大きな技術革新が起き始めています。

このような100年に一度の大変革、そしてデジタル革命の進行を受け、大同特殊鋼は、機能性に優れた素材を提供することで、お客様の技術革新を支えて参ります。

## 《行動方針》

### 1. ポートフォリオ改革

～構造材料から機能材料へ～

### 2. 事業基盤の強化

～損益分岐点の改善、経営体質強化～

### 3. 事業の再構築

～型鍛造部門・ターボハウジング部門～

## (2) 事業環境認識

## <地球規模での課題>

- ・地球温暖化
- ・環境破壊
- ・新興国人口増加と  
国内労働人口減少

## <市場（技術）の変化>

- ・内燃機関の高効率化
- ・自動車の電動化、自動化
- ・デジタル革命  
(ビッグデータ、AI、IoT、FA等)

**機能性に優れた素材への需要の高まり**  
(高耐熱、高耐食、高清浄度、高強度材料  
及び高性能磁石、高機能粉末等)

## (3) 重点施策

## ステンレス鋼 製造能力増強

ポートフォリオ改革

### 知多工場

製鋼物流合理化による能力増強  
(ステンレス鋼連続鋳造量15%向上)

連続鋳造比率向上による歩留改善  
エネルギー原単位の改善

- ・投資額 約40億円
- ・稼働時期 2019年度(予定)



### 星崎工場

線材熱処理炉、冷間加工設備  
の増設(能力10%向上)

知多・星崎工場間の物流改善  
(生産管理部の設立)

- ・投資額 約15億円
- ・稼働時期 2019年度(予定)



## 特殊ステンレス鋼,高合金製造能力拡大

ポートフォリオ改革

### 澁川工場・知多工場

再溶解設備の増設による  
高純度鋼製造能力拡大

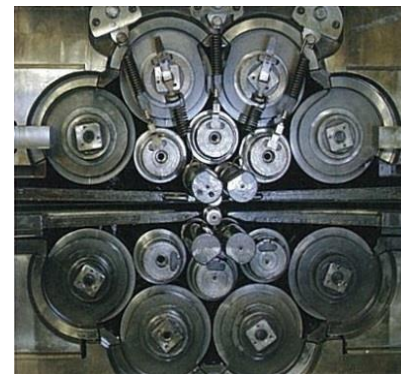
プラスチック金型用鋼の  
在名一貫製造能力拡大

- ・投資額 約40億円
- ・稼働時期 2019年度(予定)

### 知多帯鋼工場

熱処理炉増設及び冷延能力増強  
による高級帯製造能力増強  
(製造能力約20%引上げ)

- ・投資額 約15億円
- ・稼働時期 2019年度(予定)





# 機能材料・磁性材料③

## 粉末製品

ポートフォリオ改革

### 車載用リアクトル向け他 高機能粉末製品の拡大

軟磁性粉末 製造ライン増設

高機能粉末製品の拡販

- ・投資額 約15億円
- ・稼働時期 2019年度(予定)



リアクトル用圧縮コア

## 電子部材製品

ポートフォリオ改革

### 産業用ロボット向け他 高性能LED製品の拡大

LED製造・検査工程  
製造能力50%増強

電子部材製品部を設立

- ・投資額 約5億円
- ・稼働時期 2018年度(予定)



点光源LED : Star LED

## 磁石製品

ポートフォリオ改革

### 高機能ネオジム磁石事業の成長戦略推進

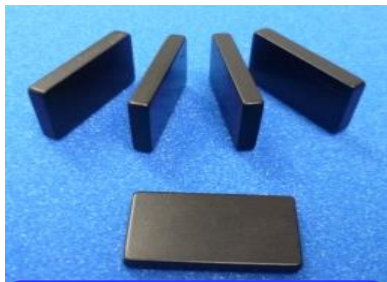
ニアネット焼結磁石(PLP製法)  
の製造ライン増強

高性能モーターソリューション提案に  
向けた研究・技術開発体制の強化

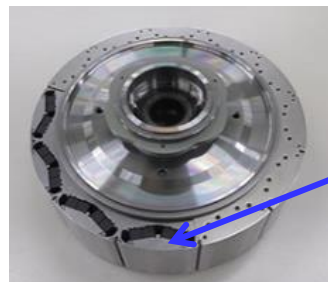
車載磁石の売上拡大  
海外(北米他)拠点設置の検討

販売・製造・商品開発の  
相互補完と一体運営

投資額 約40億円  
売上目標 約1.5倍



PLP製法磁石



HEV駆動モーター用磁石：重希土類完全フリー磁石



高性能ネオジム磁石

# 特殊鋼鋼材

## 構造用鋼



事業基盤の強化

再生産可能なマージンの確保

諸資材価格高騰に対する  
販売価格の是正

知多工場鋼材供給能力の確保

製品圧延能力5%増強  
(棒鋼圧延, 線材圧延)

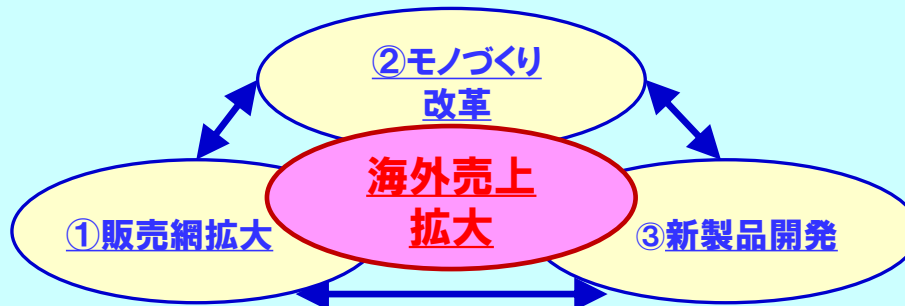
- ・投資額 約20億円
- ・稼働時期 2019年度(予定)

## 工具鋼

事業基盤の強化

ポートフォリオ改革

確実な需要の取り込みと、将来への種まき



①販売網拡大

大同DMソリューション海外拠点  
(ASEAN, 北米, 中国)の最大活用

②モノづくり改革

知多工場への再溶解炉(ESR)増設

③新製品開発

ホットスタンプ用/次世代プラ型用鋼開発

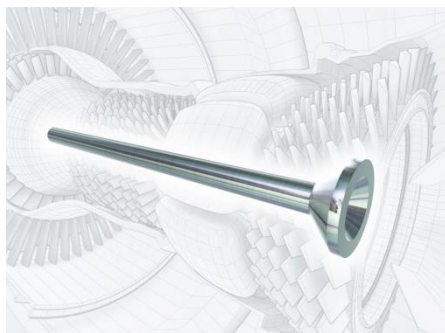
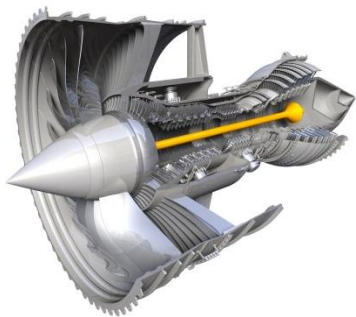
## 自由鍛造品

ポートフォリオ改革

### 市場成長を確実に捕捉

大型VIM(16年度に導入)の  
生産能力を最大限に活用

航空機エンジンシャフト拡大と  
高合金タービンディスク参入



航空機エンジンシャフト

## エンジンバルブ

ポートフォリオ改革

### 世界シェア拡大(Global10) に向けた製造能力拡大

中空バルブの生産拡大  
(高級品比率の拡大)

海外生産比率の拡大



中空バルブ

## 型鍛造品

事業の再構築

### 国内事業再構築と海外成長

プロジェクト活動による  
事業再構築の加速化

グローバル拠点活用  
による拡販強化



型鍛造製品

## ターボ部品

事業の再構築

### ターボ需要増への対応

新設第2工場(2018年1月立上)  
活用によるハウジング事業黒字化

タービンホイール拡販強化



タービンハウジング



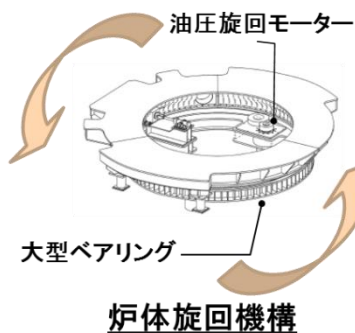
タービンホイール

## 環境エンジニアリング製品

ポートフォリオ改革

### 電気炉の省エネ化による 環境負荷軽減

炉体回転式電気炉 スクラップ均一  
溶解による溶解時間短縮



炉体回転式交流電気炉

### 自動車部品熱処理の省力・ 省エネ化と生産ライン改革

従来型ガス浸炭炉対比で  
CO<sub>2</sub>排出量を47%削減

素材・熱処理の最適ソリューション  
を提案(真空浸炭用鋼)

大ロット量産タイプ



省エネルギー機器表彰  
において「資源エネルギー  
庁長官賞」を受賞

ModulTherm®

小ロットインラインタイプ



前後加工機との同期生産  
によるインライン化で自動  
車部品工場を生産改革

SyncroTherm®

## ■ ソリューション機能の強化

### ■ お客様との共創に基づいた提案力の強化

特殊鋼と材料のソリューション部門を統合し、  
重点分野をプロジェクト活動化

I) 電動化・自動運転プロジェクト

II) ターボ高機能化プロジェクト

III) 半導体製造装置プロジェクト

IV) 高機能粉末プロジェクト

## ■ コンプライアンス活動の強化

本社部門にCRM (コーポレートリスクマネジメント) 部を新設。  
大同グループ全体のリスク管理体制を強化。

## ■ 健康経営体制の推進

「健康経営優良法人2018 (大規模法人部門)」に認定。  
従業員の健康保持・増進の取組みを強化。



## ■ エココミュニケーションの推進

「第72回愛鳥週間 平成30年度 野鳥生物保護功労者表彰」  
において「環境大臣賞」を受賞。

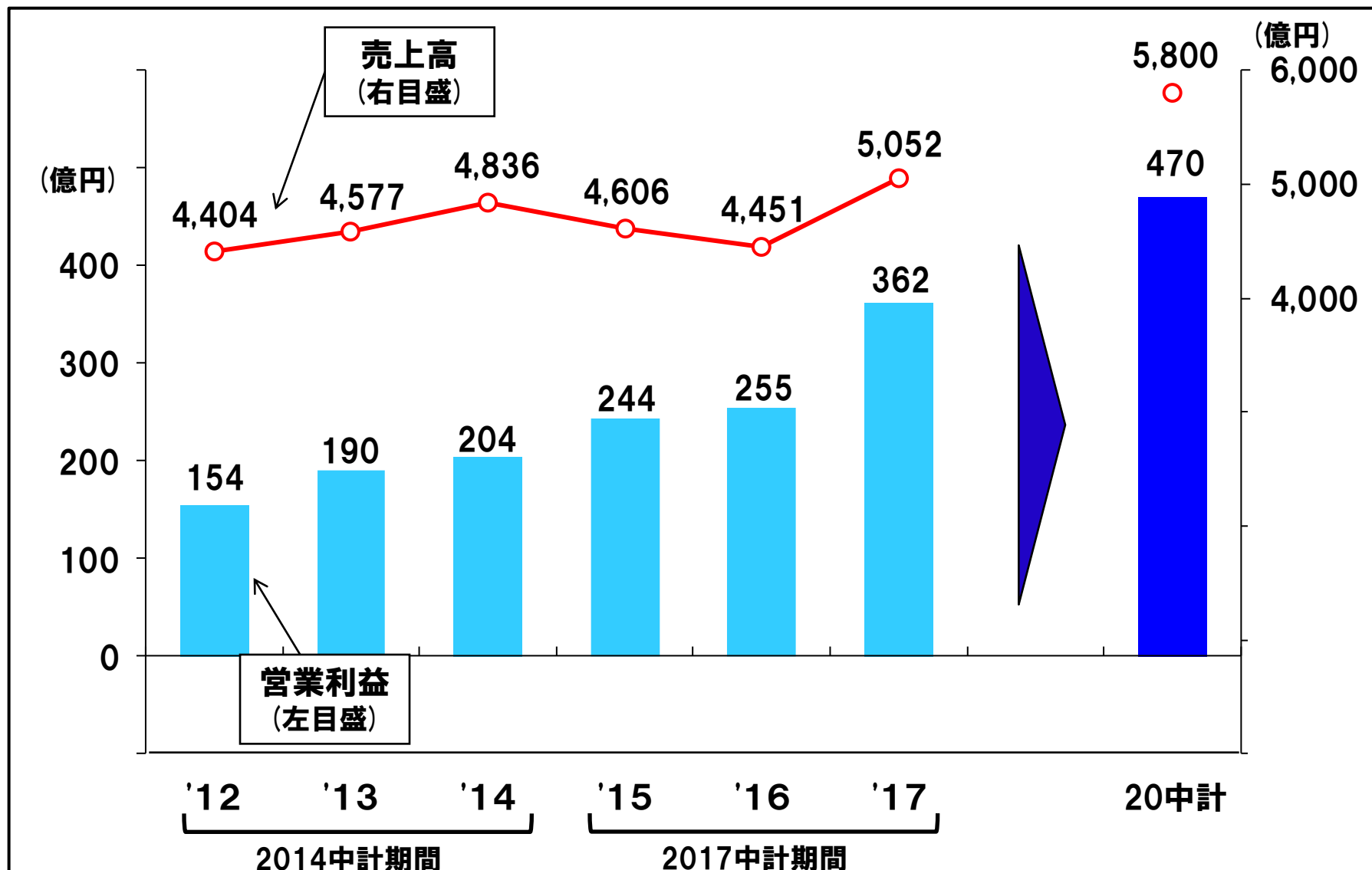


## (4) 経営目標

# 2020中期経営計画 経営目標

	17年度実績	20年度目標
売上高	5,052億円	5,800億円
営業利益	362億円	470億円
当期利益	239億円	300億円
売上高営業利益率 (ROS)	7.2%	8%
総資産経常利益率 (ROA)	5.9%	7%
自己資本当期純利益率 (ROE)	8.8%	9%
設備投資 (3年累計、工事ベース)	877億円	950億円
配当性向	21.4%	20~25%

# 売上高・営業利益



# ■ セグメント別売上高・営業利益（中計最終年度比）

（億円）

		17年度 実績 (A)	20年度 目標 (B)	前中期差 (B) - (A)
特殊鋼鋼材	売上高	1,890	2,050	160
	営業利益	65	70	5
機能材料・磁性材料	売上高	1,708	2,100	392
	営業利益	222	290	68
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	1,063	1,200	137
	営業利益	30	65	35
エンジニアリング	売上高	249	280	31
	営業利益	18	20	2
流通・サービス	売上高	142	170	28
	営業利益	27	25	-2
合計	売上高	5,052	5,800	748
	営業利益	362	470	108

# ■ 設備投資(18~20年度累計)

	2017中期 実績	2020中期 経営計画
<b>設備投資</b> (工事ベース)	877億円/3ヵ年	950億円/3ヵ年
(減価償却費)	665億円/3ヵ年	720億円/3ヵ年 )

## 成長事業への積極投資継続

### <主要施策>

- 知多・星崎工場 ステンレス鋼製造ライン合理化
- 知多・渋川工場 再溶解炉増設
- 知多帯鋼工場 高級帯鋼製造能力増強
- 粉末工場 粉末製造能力増強
- 高機能磁石製造ライン増強、海外拠点検討
- 日本精線 高機能製品製造能力増強
- OOZX 中空バルブ製造ライン増強

## ■ 株主還元方針

成長分野への積極投資により、2020中期経営計画期間も減価償却費を超える投資が継続することから、配当性向は引き続き20～25%を目安

# 20中期 利益計画の前提(市況)

	単位	17年度 実績	20年度 計画前提 (前中期差)	
<b>鉄スクラップ</b> 上段:中部H2建値 下段:中部新断建値	千円/t	26.1	30.0	(+3.9)
		31.1	35.0	(+3.9)
<b>ニッケル</b> (LME)	\$/LB	5.1	6.0	(+0.9)
<b>原油</b> (ドバイ)	\$/B	55.9	70.0	(+14.1)
<b>為替レート</b> (TTM)	円/\$	110.9	110.0	(-0.9)

## (注記)

**本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。**

**今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。**

**また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。**